平成 24 年度都道府県 IYEO 役員研修の目的と基本方針

「社会に活力を与えられる人材育成を目指して」

変化の激しい現代社会においては、これらの変化に対応し幅広い視野を持って新しい取組みを考え、実行できる人材が必要とされている。このような現状を踏まえて、50 年を超える内閣府青年国際交流事業で培われた青年育成のノウハウと日本青年国際交流機構で築き上げたネットワークをいかした人材育成に取り組む。

1. 青年層活性化の基盤づくりに取り組もう

青年の社会活動へのニーズを把握して、青年の活動の場作りと環境整備に取り組むべく、国に対して青年施策についての提言を積極的に行う。同時に、自団体の活動内容を見直すとともに他団体との連携に取り組み、青年層の活性化を図って、青年による社会の活性化を目指す。

2. 地域社会に貢献できる人材育成に取り組もう

地域における国際交流活動を積極的に行い、地域と世界の距離を狭めると共に、地域のニーズに合った貢献が果たせる人材の育成に努める。

3. 国際ネットワークをいかした国際協力活動に取り組もう

国内外における様々な課題に対応するため、半世紀にわたって築いたネットワークを活用して国際協力活動を推進し社会に貢献していく。

「IYEO の強みを生かそう！～組織マネジメントの基本～」

都道府県 IYEO 役員研修では、各地域で時代に合った活動を発案、展開していくうえで必要な視点を養い、それを具体的に実践できる人を育成することを目指す。また、その動きが IYEO 全体にとって新しい風を生むことをねらう。

そのために、都道府県 IYEO の役員として必要な考え方やノウハウを身につけ、幅広いネットワークを構築して、参加者それぞれが、研修後に変化の一歩を踏み出すことをねらう。

IYEO は平成 24 年度の活動方針に、「国に対して青年施策についての提言を積極的に行う」という内容を組み込みました。これまで以上に IYEO 自身が、青年社会活動団体として、そして国や都道府県と連携して活動する団体として、責任ある活動に取り組んでいきたいと考えます。

今回の役員研修では、都道府県 IYEO として活動をする上で理解しておくべき組織運営の基本について確認し、各 IYEO で安定した運営がされることを狙いの 1 つ目とします。

また、IYEO が活動するときには、行政との連携は欠かせません。その連携をする上で認識しておくべき基本について確認し、各 IYEO が地域の青年社会活動団体の中で重要な役割を果たしていけることを狙いの 2 つ目とします。

＜研修の流れ＞

1　IYEO についての理解を深めるための全体会（概念整理、体験学習）
2　実践のヒントとなる分科会
3　振り返り（どんな変化をあなたは生み出しますか？）

＜全体会　＞

IYEO の組織の概要や特徴について学びます。

・組織運営の基本

・自分の都道府県 IYEO の基礎情報

・行政との連携についての基本

・行政とうまく連携できている事例の紹介

＜分科会＞

A. ボランティアのリーダーになるには

どんな活動であっても、ボランティアの力を最大限に活用するにはリーダーの存在が欠かせません。多くのボランティアと活動していくリーダーには、どんな考え方、素質、スキルが必要でしょうか。

この分科会では、リーダーとして活動していく上で大切なことを整理した上で、具体的スキル（コミュニケーション力など）について学びます。

これまではボランティアの一員として活動されてきた方も、リーダーという一つ上の視点で物事を把握し、展開させてみませんか。

B. プロジェクト企画力の向上

活動（＝プロジェクト）のアイデアが浮かんだ時、皆さんはそれをどうやって発展させますか？　プロジェクトを企画する際最も重要なのは、「目的」と「ねらい」を明確に認識し、的確に定めることです。そして、作業、人、時間、予算の計画やリスク管理など、企画書に盛り込むべき内容を理解し、それぞれのポイントを学んでいきます。

これから企画書を書いてみたい方、企画書を書いたことがあり、客観的に見直してみたい方、これから助成金申請をしてみたい方などにお勧めです。

C. 魅力的な広報展開

様々な広報ツールが身近になる中で、会員や一般に向けて効果的に情報発信していきませんか？　時代に合った広報についての考え方と、必要なツールを学びます。

リニューアルした IYEO ホームページや（財）青少年国際交流推進センターのホームページを参考にしながら、都道府県 IYEO のホームページやブログを使った広報を考えます。担当や更新のタイミングなど、それぞれの状況を共有し、より魅力的な広報へとつなげます。